

1. 論文の作成

日本画像学会ホームページに掲載のテンプレートを用いて作成する。投稿論文の1頁目には論文題目、著者名、所属機関を日本語ならびに英語で表記する。原稿の最終確認著者の連絡先（日本語）と電子メールアドレスも記載する。次頁に日本語要旨（300-400字）と英文要旨（100-150 words）を書き、各々に keyword を5つ程度付ける。なお著者が会議や研究会で発表した内容、要旨・予稿を元に論文を作成する場合、その発表を明示的に引用する。

本文の記載は3頁目からはじめる。本文、参考文献、図表の説明（キャプション）、著者の略歴、顔写真の順で記載する。その後、図および表を1頁に一つずつ記載する。原著論文の場合には研究の目的、方法、結果および考察、結論の順で記述する。

2. 本文の書き方

2.1 論文のタイトル、章立て

論文名のタイトル・著者：論文名のタイトル・著者については、以下の通りに記載する。

- (1) 英文タイトルは見出しスタイル (headline capitalization style) に従い、単語の先頭をそれぞれ大文字としてセンタリングを行う（冠詞、3文字以下の前置詞、3文字以下の等位接続詞、不定詞を除く）。英文タイトル例) State-of-the-Art Production Printing Technology
- (2) 英文著者名はフルネームで全員記入し、「半角コンマ+半角スペース」で区切る。ファーストネームは最初の文字のみを大文字とし、続いて半角スペースを空けて、ファミリーネームを全て大文字で記載する。複数の著者の英文表記では、○, ○, and ○のように、and の前に“コンマ”を入れる。但し、二人の場合には、○ and ○のように“コンマ”は入れない。
- (3) 複数の所属機関の場合には著者の名前の後ろに上付き数字を付し区別する（日本語著者名欄はコンマの前）。責任著者の名前の後ろ（所属を示す上付数字の前）にはアスタリスクを付す。英語著者例) Koji TANAKA,¹ Taro GAZOU,² and Hanako FUJIYAMA*²

本文の章立て：本文の章立て構成の仕方は、以下の通りに記載する。

- (1) 章の表し方：1. ○○，節の表し方：1.1 ○○，項の表し方：1.1.1 ○○
- (2) 英文原稿の場合の章，節，項の表記は見出しスタイルとする。

2.2 本文の書き方：注意点

- (1) 一般的ではない略語・略記号は初出時に（ ）内に正式名称を記載する。
(例) np_i (nozzle per inch)
- (2) 一般的ではない学術用語・物質名は、カタカナで表記し（ ）内に英語で正式名称を記載する。
(例) フォトルミネセンス (photoluminescence)
- (3) 単位系は SI 単位を基本とする。技術分野毎に慣用的に用いられている単位は、最初に定義して使用することができる。
(例) mgKOH/g (試料 1g 中に含まれる酸性成分を中和するのに要する水酸化カリウムのミリグラム数を表す)
- (4) 物理量を表わす文字は、ローマ文字またはギリシア文字の1文字（大文字または小文字）として、斜体（イタリック体）とする（ただし、輸送現象に関する特定変数は2文字も可能）。
(例 1) 物質 B の熱容量 C_B , ガラス転移温度 T_g
(例 2) 定圧熱容量 C_p , i 番目の物質の分圧 P_i
- (5) ベクトルを表す文字は太字（ボールド体）とする。物理量変数の場合は更にイタリック体とす

る。(例) 電界 E

- (6) 数のべき乗の大きさを示す接頭語, n (ナノ), m (ミリ), k (キロ) 等は一般に小文字で記す。ただし, 10^6 よりも大きな接頭語 M (メガ), G (ギガ), T (テラ) などは大文字とする。
- (7) パラメーター名と記号及び単位の並べ方については, surface resistivity R (Ω cm) とする。

2.3 図面・表の書き方

2.3.1 図面の書き方

テンプレートを参考に, 対応の図面を作成する。

- (1) 図面は全て英文とする。原則としてアメリカ英語 (American English) の綴りを採用する。
- (2) 本文中では, Fig. 1 などと記載する。複数の図がある場合は, Fig. 1 (a), などと記載する。文章の先頭に置かれる場合はフルスペルで "Figure 2" と記載する。
- (3) 図面は冊子体では原則, 白黒にて印刷されるため, 色を使用する場合は色相では無く明度で区別できるように考慮すること。なお web サイト (J-STAGE) においてはカラーで掲載される。

2.3.2 表の書き方

テンプレートを参考に, 対応の表を作成する。

- (1) 文字・単位などは, 基本的に図面の書き方に準ずる。
- (2) 本文中での記載の仕方は, Table 1 などと記載する。

2.3.3 図及び表の説明, 提出方法

図及び表の説明 (キャプション) を本文の末尾 (参考文献の次) にまとめて, 英文で記載する。印刷時の劣化を防止するため, 高解像度で作成し, 1 頁に一つの図あるいは表を記載する。

2.4 参考文献の書き方

参考文献は記載内容を理解する上で, 論拠となった考え方や研究成果を記した文献である。それぞれの参考文献に, 読者がアクセスするために必要な情報を記載する。表記については以下の記載例に準ずることを推奨する。記事内で統一されていることも推奨する。

2.4.1 表記方法

- (1) 参考文献を本文中に引用する場合は, 引用箇所の右肩に "1)" のように, "数値" を上付き文字で記入する。複数の文献を引用する場合, "1, 2)", "3, 8, 11)" のように文献番号をカンマでつなぐ。文献番号が連続する場合は "4-8)" のようにハイフンでつなぐ。混在する場合は "4, 7, 9-11)" のように文献範囲を記載し, 括弧で閉じる。
- (2) 参考文献にアクセスするために必要な情報を原則としてアメリカ英語で記載する。参考文献にデジタルオブジェクト識別子 (DOI: digital object identifier) が付与されている場合は付記することを推奨する。
- (3) 日本語で記載されている参考文献については, 以下の点に注意して記載する。
 - 日本語であることを明記するため, 参考文献の末尾に [in Japanese] と付記する。
 - 題名, 雑誌名等に正式な英語名が併記されている場合は, その英語名を表記する。
 - 題名, 著者名, 書籍名, 出版社名等が日本語のみで表記されている場合, 個人の判断で英訳せずにローマ字 (ヘボン式) にて記載する。

2.4.2 記載例

- (1) 学術雑誌・研究技法など: 著者, "題名: 副題," 雑誌名, **巻数** (太字で記載: 頁数が各号ごとに割り振られている場合には号数を付記), 頁 (初めと終わり記載) (発行年). [in 言語 (英語以外の場合)]. DOI. (存在する場合)

- T. Gan, T. Nagao, T. Mitsuhashi, T. Suzuki, and N. Nakayama, “Development of transfer process capable of using various media for liquid electrophotography utilizing numerical analysis,” *Journal of the Imaging Society of Japan*, **57**, pp. 677-684 (2018), doi:10.11370/isj.57.677.
- S. Iwatsuki, N. Takikawa, K. Okada, Y. Yamashita, and Y. Ishii, “Kanjo eteru no enkiseido to kachion kyojugosei,” *Kogyo Kagaku Zasshi*, **67**, pp. 1236-1240 (1964) [in Japanese]. https://doi.org/10.1246/nikkashi1898.67.8_1236.
- (2) 電子ジャーナルの場合：著者名，“論文名，”雑誌名，**巻数**（太字で記載：号数），論文番号，頁（初めと終わり記載）（発行年）．[in 言語（英語以外の場合）]．DOI．（存在する場合）
 - S. A. Mabon, T. Misteli, “Differential recruitment of pre-mRNA splicing factors to alternatively spliced transcripts in vivo,” *PLOS Biology*, **3**, e374, pp. 1-6 (2005), doi:10.1371/journal.pbio.0030374. <https://journals.plos.org/plosbiology/article?id=10.1371/journal.pbio.0030374>.
- (3) 学術会議予稿集（論文集）など：著者名，“講演タイトル，”会議名または会議録名（会議略称），（会議開催地），会議開催機関（開催年 ※会議名などに開催機関名や開催年が記載されている場合は記載の必要なし），講演番号，頁（初めと終わり記載）．[in 言語（英語以外の場合）]．
 - Y. Harada, “Measurement of viscosity process of ink droplets landed on media,” *Proceedings of the 123rd Annual Conference on the Imaging Society of JAPAN (Imaging Conference Japan 2019)*, IJ2-03, pp. 39-42 [in Japanese].
- (4) 単行本などの出版物：著者名，“出版物タイトル，”版表示，出版地，出版社名（発行年），総頁数または参照頁（初めと終わり記載），（シリーズ名），ISBN．[in 言語（英語以外の場合）]．
 - Edited by W. Zapka, “*Handbook of Industrial Inkjet Printing: A Full System Approach*,” Wiley (2018), 984 p., ISBN 9783527338320. ※全体を引用する場合
 - D. Kaiser, “Making Tools Travel: Pedagogy and the Transfer of Skills in Postwar Theoretical Physics,” *Pedagogy and the Practice of Science*, edited by D. Kaiser, MIT Press (2005), pp. 41-74, ISBN 9780262112888. ※一部を引用する場合
- (5) 特許：発明者名（出願人），“発明の名称，”国名特許，公開特許番号（公開年）または登録特許番号（登録年），参照頁または総頁 [in 言語（英語以外の場合）]．
 - K. Yasuda (Fujifilm Corporation), “Inku soseibutsu, inku setto oyobi gazo Keisei hoho,” *Japan Patent Application 2012-062441*, 38 p. [in Japanese].
- (6) Web ページの場合：発行元，“ウェブページの題名．” URL，（アクセス日）．
 - The Imaging Society of Japan, “How to post the ‘Journal of the Imaging Society of Japan.’” http://www.isj-imaging.org/ISJ_Journal/e-submission.html, (accessed 2020-05-10).
 - Fujifilm, “Fuji fuirumu ‘AQUAFUZE (AKUAFU-ZU) gijutsu’ shin kaihatu” [in Japanese]. <https://www.fujifilm.com/jp/ja/news/list/11242>, (accessed 2025-02-03).

3. 著者略歴

著者全員の略歴を記載し，写真（電子データ）を貼り付ける。

4. 論文の投稿と修正

原稿の提出は，学会の指定する投稿用 web サイトを経由する電子投稿を原則とし，その環境にない場合は紙出力物による投稿を認める．電子投稿では，投稿が受け付けられた日付を受理日とする．紙出力による投稿の場合，本学会事務局内編集委員長宛とし，それが到着した日付を受理日とする．

投稿原稿に対して内容の修正が求められた場合，修正を加えた「原稿ファイル」と共に査読コメント

への返答や修正点を箇条書きした「回答ファイル」を提出する。修正原稿が6ヶ月を経過しても提出されない場合は取り下げたものと判断する。

5. 掲載料, 原稿料, および別刷り代金

掲載料は1頁5,000円(刷り上がり)とする。冊子体のカラー印刷代金は1頁30,000円とし、編集委員会が必要と認めるものに限り無料とする。ウェブサイトに掲載される原稿においてはカラー画像を利用できる。

依頼解説について掲載料は不要とする。また原稿料として、1頁1,500円(刷り上がり)を支払う。著者のうち希望者は別刷りを購入できる。別刷り代金は以下のように50部を単位とする。

頁数	50部	100部	150部	200部	250部
5	12,500	24,000	35,600	47,100	58,600
6	14,600	28,200	41,900	55,500	69,100
7	16,700	32,400	48,100	63,900	79,600
8	18,800	36,600	54,400	72,200	90,000
9	20,900	40,800	60,700	80,600	100,500
10	23,000	45,000	67,000	89,000	111,000

$$\text{別刷り代金} = [(4000 \times m - 2000) \times \text{頁数} + (2000 \times m)] \times 1.0476 \quad ※ m = 1 + (\text{部数} - 50) / 100$$

以上